

【私は輝き続け誰からも頼りにされる生き方を実現します】

私は負けず嫌いであることを大事にした上で、輝き続け誰からも頼りにされる生き方を実現したい、と考えています。

実際私は高校時代、学業と部活動の両立に一番力を注ぎ、学業では3年最後の試験で学年1位、部活動では書道で福島県代表に選ばれ全国出展を実現させました。

中学生時代、部活動に注力しすぎて学業との両立ができませんでした。この経験から高校では学業、部活動共に両立させるだけでなく、結果を必ず残すと決めました。しかし、思うような結果に繋がらず、何度も悔しい思いをしました。

それでも、「学年1位になる」目標を実現させるために

「視覚的記憶力を活かしたノート作り」「理解できない部分は先生や友人に聞く」この2点を3年間続けました。その結果、3年最後の試験で学年300人中1位になることができました。

部活動の書道においても「手本の細部にまでこだわる」「空白部分にも意識を向ける」この2点を行った結果、福島県代表に選出され、全国大会に出展することができました。これらの結果を出したことにより、周囲の反応も変わりました。

クラスメイトからは、問題の解き方など頼られるようになり、先生からは期待してもらえるようになりました。個人が成長することで、より多くの人に頼られたり期待してもらえたりすることを実感しました。私はこれこそが自分の喜びに変わることを負けず嫌いを発揮することで知ることができました。

何故そういう取り組みをしたかという一番になりたいと、思ったからです。
そもそも私にはそういう感情を抱くようになったきっかけがあります。

それは、物心つく前から自然と養われました。私には兄、姉、弟がおり、毎日のようにどんなに小さな事でも勝負をしていました。一方が負ければ再度勝負を何度も続けました。
それにより、やるからには納得のいくまでやり続ける、誰にも負けたくないという思いが日に日に強くなっていきました。年齢が上がると共に経験の幅が増え、その経験を通じて、個人が成長することで、
より多くの人に頼られたり貢献できたりすることを実感しました。

私はこれこそが自分の喜びに変わることを負けず嫌いを発揮することで知ることができました。
だから私は先程お伝えした高校時代の取り組みに対しても、一番になりたい思いが強くなり、
結果として、学業で学年1位、書道で全国出展ができたのだと思います。

**私はこれからも負けず嫌いでいることを大事にした上で、輝き続け誰からも頼りにされる生き方を
実現したい、とそう考えています。**